

化に伴い医療現場でも課題の多い認知症について、「ゆらぐ記憶－認知症の人を理解する」と題してご講演頂きました。認知症の症状や介護する家族の接し方など、時にユーモアを交え、分かりやすく、心に深く沁みのお話で、みな熱心に耳を傾けておりました。

天候にも恵まれ、盛会のうちに無事終了致しました。ご協力いただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

第14回栃木支部学術集会

学術集会会長：那須赤十字病院院長 北島敏光



会場風景

2014年10月25日(土)に「第14回日本医療マネジメント学会栃木支部学術集会」を那須赤十字病院マイタウンホールにて開催いたしました。今回のテーマ

は「救急医療からみる医療連携」で、県内各地から160名の方に参加していただきました。

基調講演は、長谷川 伸之先生(那須赤十字病院第一救急部長)による「那須地域で活躍する救急医療～ドクターカー&ドクターヘリの現状～」で、救急医療には病診連携、病病連携ばかりでなく、広域消防組合を始めとするあらゆる職種の人達と連携することの重要性についてご講演いただきました。シンポジウムは「地域医療連携ネットワーク～とちまるネットの運用について～」と題して、3名の先生方にご発表いただきました。「とちまるネット」は栃木県医師会の主導で今年度から運用され、これからの医療マネジメントには欠かせない事項です。

ポスター発表は一般演題が8題、クリティカルパス・地域連携クリティカルパスが4題ありました。

本学術集会の開催に当たり、ご協力とご支援を戴いた関係各位に衷心より感謝申し上げ、開催の報告と致します。

分科会開催案内

2014年度 医療連携分科会

テーマ：地域包括ケアと地域連携

2014年6月18日に医療・介護一括法が国会で可決成立しました。本法の最大の政策課題は「地域包括ケアシステム」の構築といえるでしょう。この構築には医療と介護の連携が欠かせません。医療連携分科会では、2015年4月の介護報酬改定も見据えながら、地域包括ケアと地域連携をテーマとして、みなさんと一緒に考えていきたいと思っております。ご参集ください。

・日時 2015年2月21日(土)10:30～16:00

・会場 国立病院機構東京医療センター
外来診療棟 3階 大会議室
(〒152-8902東京都目黒区東が丘2-5-1)

・プログラム

10:00 受付開始

10:30 開会

日本医療マネジメント学会理事長 宮崎久義

10:45～11:30 基調講演1

「地域包括ケアシステムについて」

厚生労働省大臣官房審議官(医療介護連携担当) 吉田 学

11:30～12:30 基調講演2

「地域包括ケアとケアサイクル論」

文部科学省科学技術・学術政策研究所客員研究官
長谷川 敏彦

12:30～13:30 休憩

13:30～14:00 講演1

「急性期病院の立場から地域包括ケアを考える」

社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院理事長、
公益社団法人全日本病院協会副会長 神野正博

14:00～14:30 講演2

「医師会の立場から地域包括ケアを考える」

医療法人財団千葉健愛会理事長、
あおぞら診療所院長 川越正平

14:30～15:00 講演3

「日本看護協会の立場から地域包括ケアを考える」

北九州市保健福祉局地域支援部
いのちをつなぐネットワーク推進課課長 清田啓子

15:00～15:20 講演4

「地域連携人材の養成、「医療福祉連携士」について」

山形県赤十字血液センター所長 清水 博

15:20～15:30 休憩

15:30～16:00 パネルディスカッション

「2025年へ向けて医療と介護の連携を考える」

司会 国際医療福祉大学大学院

医療経営管理学分野教授 武藤正樹

演者 社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院理事長、
公益社団法人全日本病院協会副会長 神野正博

医療法人財団千葉健愛会理事長、あおぞら診療所院長 川越正平

北九州市保健福祉局地域支援部
いのちをつなぐネットワーク推進課課長 清田啓子

山形県赤十字血液センター所長 清水 博

16:00 閉会(予定)

〈募集要項〉

○会 費 5,000円(但し、学会非会員 10,000円)

○定 員 200名(定員を満了し次第締め切らせていただきますので、お早めにお申込み下さい)

○受付期間 2014年12月1日(月)～2015年1月23日(金)

○問合せ先 日本医療マネジメント学会事務局